

一般質問(3)



「文理台公園 朝のラジオ体操」 たかちゃん(東町在住)の作品

後期高齢者医療制度は廃止に！
この世論に心えることを求める

藤岡 智明(共産)

質問 後期高齢者医療制度は国民負担も高齢者への差別医療も時がたつほどひどくなつていく仕組みだ。マスコミ世論調査では7割が反対。参議院では野党4党の廃止法案が可決・廃止し

質問 ばならないと考える。介護保険について市実施のアンケートでは、介護費用負担軽減を求める回答が多く寄せられている。高齢者は医療、介護、年金の改悪で暮らしは大変だ。介護保険料、利用料の市独自の減免制度創設を求める。

市長 大きな課題があることは指摘のとおりだ。高齢者の皆様の意見を伺うたびに、心の痛みを感じる。市として、負担増にならないよう、国・都に対してさらに要望する。廃止を求めることについては、法律ができた以上は慎重でなければ

市長 保険料は所得区分の8段階設定(国標準は6段階)により低所得者に配慮されている。保険料軽減、利用料負担軽減については、国の責任で実施していくよう要望していく。低所得者対策は第4期介護保険事業計画(今年度策定)に向けて、介護保険運営協議会で議論されることになる。

高齢者が安心して暮らせるまちへ
介助員制度の強化・充実を！

納田 さおり(無所属)

質問 地域包括支援センターの主要事業である要支援の介護予防ケアプラン作成について、各センター間で格差が生じないために、どのような取り組みを行っているのか。

質問 外部の専門家も含む運営協議会があり、中立的な立場から介護予防ケアプラン作成等各事業の円滑・適正・公正な運営について検証を行う。

質問 後期高齢者医療制度創設など社会保障制度全般の改正が目まぐるしい。その

質問 後期高齢者医療制度創設など社会保障制度全般の改正が目まぐるしい。その

戦後、復興に貢献された高齢者や
心悩める子らのために

小峰 和美(自民・無)

質問 後期高齢者医療制度が始まって2カ月過ぎ、負担の変化や不満の声を聞く。

質問 後期高齢者医療制度が始まって2カ月過ぎ、負担の変化や不満の声を聞く。

市長 市長会を通し知事への直接折衝、厚生労働大臣に直接の要望等で戦後の復興に多大に貢献された高齢者の負担増にならないよう要望する(同趣旨の質問内容から)。

市長 市長会を通し知事への直接折衝、厚生労働大臣に直接の要望等で戦後の復興に多大に貢献された高齢者の負担増にならないよう要望する(同趣旨の質問内容から)。

質問 メタボリックシンドローム、内臓脂肪症候群の

質問 メタボリックシンドローム、内臓脂肪症候群の

格差と貧困の広がりの中、
子育て・青年支援を求める

保谷 清子(共産)

質問 妊婦無料健診の助産院への拡充を求める。

意見 認可保育所の計画的な建設を提案する。

質問 保育園の待機児解消に向けての取り組みは、

質問 認可保育所の計画的な建設を提案する。

質問 認可保育所建て替えで入所枠を拡大、認証保育

質問 認可保育所の計画的な建設を提案する。

質問 認可保育所建て替えで入所枠を拡大、認証保育

質問 認可保育所の計画的な建設を提案する。

育ニーズを考えたい。
東大農場のキャンパス計画について、市が一帯のまちづくりを

浅野 高司(自民・無)

質問 東大農場のキャンパス計画について、市が一帯のまちづくりを

質問 東大農場のキャンパス計画について、市が一帯のまちづくりを

市長 約6億円の負担増。国民的議論が必要である。

市長 約6億円の負担増。国民的議論が必要である。

質問 議員報酬受取拒否により、市長が報酬を法務局に供託したことで、議員の生活・政治活動ができないとの報道があったが、供託金を受け取るための手続は、

市長 議員が法務局に手続をすればいつでも受取可能。

質問 西武池袋線鉄道連続立体交差化について、大泉学園駅に向け事業が進捗している。次は保谷駅、ひばりヶ丘駅だが、都によると西東京市からの声が聞こえ

市長 提言・意見としたい。

質問 物価高騰を受け給食費は維持できるのか。未納は大丈夫か。また、地場野菜の使用に対する考え方、青嵐中の給食調理方式は、

市長 関係機関で協議、検討をする。



市道と交差する調布保谷線(下保谷1丁目)

子どもの権利に関する
条例制定に疑問

鈴木 久幸(自民・無)

質問 子どもは親の庇護のもとで成長するものであり、親の思想や生き方が範となり健全に生きていけると思う。だが現実には虐待や放任、そして養育を放棄してしまう親がいることも事実である。これは親の資質の問題で、殊さら子どもの権利条約を前面に出すことではないと思うが、市はどのようにとらえ、考えるのか。

質問 子どもは親の庇護のもとで成長するものであり、親の思想や生き方が範となり健全に生きていけると思う。だが現実には虐待や放任、そして養育を放棄してしまう親がいることも事実である。これは親の資質の問題で、殊さら子どもの権利条約を前面に出すことではないと思うが、市はどのようにとらえ、考えるのか。

質問 自治体における条例は、子どもの権利条約の内容を地域で実現するための仕組みとして、地域の子どもと大人が確認し、つくり上げていくものと考えます。

意見 子どもは親の庇護のもとで成長するものであり、親の思想や生き方が範となり健全に生きていけると思う。だが現実には虐待や放任、そして養育を放棄してしまう親がいることも事実である。これは親の資質の問題で、殊さら子どもの権利条約を前面に出すことではないと思うが、市はどのようにとらえ、考えるのか。



田無第四中学校

質問 田無第四中・柳沢小・柳沢中で行っている2学期制の試行は、保護者や教職員の十分な議論が必要ではないか。

質問 田無第四中・柳沢小・柳沢中で行っている2学期制の試行は、保護者や教職員の十分な議論が必要ではないか。

質問 青年労働者の実態調査と労働法制学習会等の支援を求める。

質問 青年労働者の実態調査と労働法制学習会等の支援を求める。

質問 就職活動基本セミナーを開催する予定だ。

質問 就職活動基本セミナーを開催する予定だ。